

PTA家庭教育学級 ハンドブック

PTA家庭教育学級って何？

家庭教育学級とは？

小学生から中学生にかけて、子どもは急速に世界を広げ、成長していきます。この時期は保護者としても子どもの成長に驚き、戸惑うことが多いと思います。子どもの健全な成長にとって、家庭の教育力の充実は極めて重要です。

その担い手である保護者同士が、今までの経験値では対処できない子育ての課題や子どもが直面する課題などを学び合っていこうというのが「家庭教育学級」です。

なぜPTAでやるの？

同じ地域に住み、同じ年代の子どもを持ち、同じ学校に通う子どもを持つ保護者同士、共通の場であるPTAで家庭教育について考え方を学び合うことにより連帯感が生まれます。また、地域の問題も取り組みやすくなるなど、とても意義があります。そして、子どもを育てていく上で家庭教育学級を通して保護者も常に学び発達していくことが大切ではないでしょうか。

保護者と教師、地域の人々が連携して子どもたちの健全な成長と幸せを願って、共に学ぶ「PTA家庭教育学級」が“今”必要だといえます。

どんなことを学ぶの？

近年、子ども達を取り巻く社会環境は著しく変化しています。そんな中、子どもを育てるごとに不安や悩みを感じている保護者が多いことでしょう。

家庭教育学級では、身近な子育てのことなど家庭教育に関するテーマについて興味を持って取り組み、自分の考えをしっかりと持つことが望されます。

どんなテーマがあるのかな？

子どもの成長・性、遊びや友達、こづかい・テレビ・ゲーム・スマートフォン、虐待・いじめ・不登校、家族・父親の役割、親子のコミュニケーション、多文化共生、地域社会と子ども・・・

※前年度の家庭教育学級報告書など参照



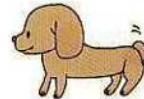


さあ！始めよう 家庭教育学級

① 委員会の立ち上がり

- 引継ぎをしましょう。

前年度の委員の方々に、テーマ・課題の選定、司会者や記録者・助言者・講師の選び方、講師依頼の仕方、昨年度の成功例・失敗例など、全ての資料（前年度の家庭教育学級報告書など）・情報の提供をしていただきます。



しっかりと引き継ぎを
しましょう！

② 案内の送付

- 教育文化会館・市民館より各単位PTA宛てに、説明会の案内が送付されます。
- PTA家庭教育学級担当者は必ず説明会に参加しましょう。

③ 説明会への参加

- 区PTA家庭教育学級実施説明会では、

I PTA家庭教育学級講師派遣実施要領

II PTA家庭教育学級開設の関係書類が配布されます。

III 家庭教育学級の開設目的や事務手続きについて説明があります。



わからないことは、
確認しましょう！

④ 学級の申し込み

- 「連絡先確認書」を提出しよう。

I 「連絡先確認書」で市費の申請をする。

※ 注「計画書」・「請求確認書」は必要ありません

_____月_____日までに教育文化会館・各市民館社会教育振興係へ提出します。

⑤ 計画書の内容検討

- 課題を探りましょう。（学ばなければならないこと、学びたいこと）

知りたいこと・話を聞きたいことはなんですか？

こづかい
スマートフォン・パソコン
虐待・いじめ・不登校
インターネット・SNS

家族
父親の役割
子どもの成長・生活習慣
非行・犯罪

- 1年間のテーマを最初にきめましょう。

- 3回の家庭教育学級開催を目安に、PTA、学校との話し合いの場を持ちましょう。

- 過去の実績や他校の家庭教育学級を参考にするのもよいでしょう。

- 講師の選定をします。

I 学習課題に対して適切なアドバイスができる人が良いでしょう。

II 他校の講師やインターネットで検索したり、学校の先生に情報をもらったり、市民館も相談を受け付けています。

- 「講師等謝礼標準単価表」を基に予算を立てます。

I 講師の社会的立場をベースとし、時間あたりの謝礼を算定します。

II 趣味・スポーツ・社会見学の内容では市費の利用はできません。



- 日程・会場の設定をします。
- 計画に際して事前に教育文化会館・各市民館社会教育振興係の担当者に相談・確認しましょう。
※保育付き学級を希望される場合は、教育文化会館・各市民館にご相談ください。
- 講師の依頼をします。
 - I 講師と日程調整をする。
 - II 学習内容・講師謝礼の確認をする。

_____月_____日までに教育文化会館・各市民館社会教育振興係へ提出します。

⑥ 市費の使用・「請求確認書」の提出

- 「請求確認書」に記入しましょう。
 - I 「請求確認書」に記入漏れがないか確認します。
 - II 「請求確認書」は、講師1人につき、1枚記入します。
 - III 市費とPTA会費を併せて使用する場合は、市費のみ記入ください。

※家庭教育学級開催日の_____までに「請求確認書」・「講師依頼文」を
教育文化会館・各市民館社会教育振興係へ提出します。

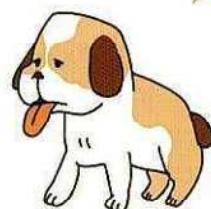
※市費を使用しない場合は、「請求確認書」・「講師依頼文」の提出は不要です。

⑦ 学級の運営

- 学習内容とタイムテーブルを講師と打合せをします。
- 開催のお知らせ・ポスターなどを作成し配布します。
- 当日の進行表の作成、役割分担をします。
- 開催日1週間前に講師へ最終確認します。
- 当日の運営を行い、記録をとります。
 - I 家庭教育学級の開始1時間前には集合し、会場設営
や受付などの準備をしましょう。
 - II 次年度のためにアンケートをとりましょう。
 - III 講師の飲み物を準備しましょう。

IV 終了後は、教育文化会館・各市民館社会教育振興係の担当者へ連絡しましょう。

※講師謝礼は原則、振り込みのため連絡を頂いてから支出の手続きをします。



⑧ まとめ・「報告書」の提出

- 次年度への引継ぎのための資料を作ります。
- 家庭教育学級日誌やアンケートや感想文を参考に学級をふりかえります。
- 「報告書」を作成します。
 - I 学習内容、参加人数
 - II 評価、感想
 - III 講師謝礼額

※講師謝礼の発生しないプログラムも記入してください。

_____月_____日までに教育文化会館・各市民館社会教育振興係へ提出します。

⑨ 家庭教育学級報告会への参加

- 教育文化会館・各市民館で行われる_____月_____日の報告会に参加しましょう。

お疲れ様でした！

PTA とは

PTA は、Parent-Teacher Association の略です。

子どもたちの健やかな成長を願って、多くの保護者と教職員が連携・協働して、子どもたちを取り巻く状況・情報を共有し、互いに学びあいながら行う活動を PTA 活動といいます。

PTA は『社会教育団体』です。学校で行われるのが「学校教育」、家庭で行われるのが「家庭教育」それと並んで、大切な教育が「社会教育」です。

子どもたちは家庭・学校・地域を行ったり、来たりしながら、生活し学び、成長します。家庭のしつけが学校での学習に生き、学校で学んだ友人関係が地域に繋がります。子どもの成長は時と場所を選ばず継続していきます。

また PTA は成人教育の場でもあります。より良い保護者・先生であるためには、自ら学びや研修に励む必要があります。より良い大人であることが、子どもたちの健全育成のためには大切なことです。PTA の幅広い活動を通して、私たちも共に学び、成長していくけるそんな組織が PTA です。

(公益社団法人 日本 PTA 全国協議会「はじめまして PTA」より抜粋)

PTA の組織

川崎市においては、各学校の PTA を基本単位として、区単位でまたは全市単位で PTA の活性化を図る区 PTA 協議会と、市 PTA 連絡協議会があります。区 PTA 協議会は教育文化会館や各区の市民館と、また市 PTA 連絡協議会は教育委員会と、密接な連携を取りながら、PTA 活動の発展に努めています。各学校の PTA (=単位 PTA) は、各委員会活動と、役員会、運営委員会、総会などの組織によって活動しています。下の図は、一般的な単位 PTA の組織です。委員会の委員、役員などを決めるにあたっては、クラス単位で選出している学校、学年ごとに選出している学校、地区ごとに選出している学校など、学校の規模や、地域性によって様々です。

